

特別支援学級国語科学習指導案

時間・場所 公開授業③ さくら学級教室
学 級 さくら学級 2名（女子2名）
指 導 者

1 単元名 古典の文章に出会い、現代とのつながりを考える

学習教材名 「蓬萊の玉の枝—『竹取物語』から（光村図書 国語1 P147）」

2 単元について

本学級は、今年度新たに「知的」特別支援学級として開設され、2名の生徒が在籍している。（1年知的女子：A・1年情緒女子：B）Aは小学校から特別支援学級に所属し、日常生活レベルの漢字・会話の能力は高い。Bは、小学校まで通常学級に所属し、全般的な知的（学習）能力が高い。そのような編成の中で「双方に有用な共通の支援」のあり方を模索し、交流学級との学習上の交流を円滑にするために、これまで可能な範囲で共通の教材（題材）を用いて「複式」的な形態による学習支援をすすめてきた。また、一般的に特別支援学級対象生徒は「自身を客観的に見つめること」「考えを言語表現すること」が困難であると言われるように、本学級生徒も同様の傾向を有している。

本単元の「蓬萊の玉の枝」は、古典文とはいえ、「かぐや姫」の物語として親しみがある題材である。主人公をはじめとした登場人物たちの心情や場面の情景などは、現代人の感覚に照らして読み取りやすく、前述の状況にあるA・Bにとっても、共に楽しみながら学習を進めるのに適している。

本時は、上記教材の特性と生徒の状況を踏まえながら、登場人物に自身を投影させて「自分を見つめようとする（自分の考えを持つ）」ことと、その「考え（思考）を言語化して表現しようとする」ことを目指して、教科としての指導を進める。

3 単元目標及び評価規準

（1）単元目標

- ・古典の文章に出会い、古典特有の文章のリズムなどを味わう。（伝統的な言語文化（ア））
- ・登場人物の心情を想像し、現代人と似ている点を指摘するなど自分の考えを持つ。（C－イ）

（2）単元の評価規準（個別）

関心・意欲・態度	読むこと	伝統的な言語文化
A 原文や現代語部分の音読を通して、古典に対して興味・関心を持つ。	A 原文や現代語訳から登場人物の心情を想像し、それに対して感想を持つ。	A 古文のリズムを楽しみながら大きな声で音読する。
B 原文の音読や内容読み取りを通して、古典に対して興味・関心を持つ。	B 原文や現代語訳から登場人物の心情を読み取り、それに対して自分の考えを持つ。	B 古文のリズムを楽しみながら、歴史的仮名遣いに注意して音読する。

4 単元計画（総時数5時間）

次	時	主な学習内容
1	1	「いろは歌」「月に思う」（P140－146）を読み、古典への関心を持つ。
2	1	冒頭部分を読み、古文のリズムに親しみながら登場人物の心情を想像する。【本時】
	1	「くらもちの皇子架空の冒険談」を読み、場面の様子と皇子の心情を想像する。
	1	姫が昇天する場面を読み、姫と帝の心情を想像する。
3	1	物語全体を音読しながら振り返り、学習を通して学んだことを確認する。

5 本時の指導 (2 / 5)

(1) 目標

- ・音読を通して古文のリズムに親しむ。
- ・物語の情景や登場人物の心情を想像し、その内容を言葉にして伝える。

(2) 「振り返り」の工夫

本時の学習を通して「できたこと」「がんばっていたこと」を見つめ（自他の客観評価）、その内容を文章にまとめて（言語化）発表する手立てを組む。

(3) 展開 個：個別の内容による学習 支：T 2による支援

段階	学習活動	指導上の留意点と評価 ()	
導入 7分	A ・ B 共通の内容	A	B
	1 漢字練習を行う。 2 課題をつかむ。	1 個 「小学用漢字ドリル」で小学5・6年漢字を練習する。 2 「できそうだ」という見通しをもって学習に取り組む。	1 個 「中1用ドリル」で新出漢字を中心に練習する。 2 課題追究の流れを確認して取り組む。
展開 30分	「竹取の翁」の気持ちを考えながら「竹取物語」のはじめの部分を読もう。		
	3 「竹取物語」のあらましを確認する。 4 冒頭部分の音読練習をする。 ・個別～斉読 ・相互評価	3 教科書の口絵や B の発言などから「かぐや姫」の話の思い出させる。 4 間違っても大きな声で音読するよう励ます。 支 Bの音読の良さを言葉で伝えさせる。【相互評価】支 	3 「かぐや姫」の物語について知っていることを発表させる。 4 大きな声で正確に音読するよう促す。 Aの音読の良さを分かりやすく伝えさせる。【相互評価】
	5 冒頭部分の概要を確認する。 ・周囲の情景 ・翁の人物像	5 「小グループ活動」として、場面のような様子や翁の人物像を話し合い、簡単に確認する。【交流】 支	
	6 翁の心情を考える。 ・「自分だったら」という視点で考える。	6 「自分が翁だったら」どんな気持ちか想像し、文章にまとめて発表させる。 支	6 それまでの翁の暮らしぶりを踏まえて「自分が翁だったら」と想像させる。
終末 13分	7 振り返りを行う。 ・項目に沿って考えを書きまとめて発表する。	7 振り返り用紙の項目に沿って学習を振り返り、短い文章で内容を書きまとめて発表させる。 支	7 振り返り用紙の項目に沿って学習を振り返り、自分なりの感想を交えて書きまとめて発表させる。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 大きな声で古典の文章を音読することができました。 ● 場面の様子や翁の気持ちを想像することができました。 ● () さんの () ところがよかったですと思います。(第I型) 		
	8 次時予告を聞く。	8 振り返り用紙を提出する。	8 振り返り用紙を提出する。